



JR九州グループの会社説明会

2024年10月19日

九州旅客鉄道株式会社（証券コード：9142）



KYUSHU RAILWAY COMPANY



本日お伝えしたいこと



JR九州グループ について

- JR九州グループのあゆみ
- JR九州グループの事業構成

JR九州の 経営戦略

- JR九州グループの経営計画の体系
- 本中期経営計画の重点戦略
- 本中期経営計画の実行を支える人づくり・基盤づくり

決算ハイライト ・ 株主還元

- 決算ハイライト
- 2025年3月期通期連結業績予想
- 株主還元方針
- 株主優待制度



JR九州グループについて



KYUSHU RAILWAY COMPANY

企業プロフィール（2024年3月31日現在）



- **会社名称** 九州旅客鉄道株式会社
- **設立** 1987年4月1日
- **従業員数** 単体7,576名(連結14,677名)※2024年4月1日現在
- **発行済株式総数** 157,301,600株（単元株式数：100株）
- **上場市場名** 東京証券取引所プライム市場、福岡証券取引所
- **株主数** 168,678名
- **子会社・関連会社**

子会社	63社（うち	連結子会社49社）
関連会社	7社（うち持分法適用関連会社	5社）



JR九州グループのあゆみ



KYUSHU RAILWAY COMPANY



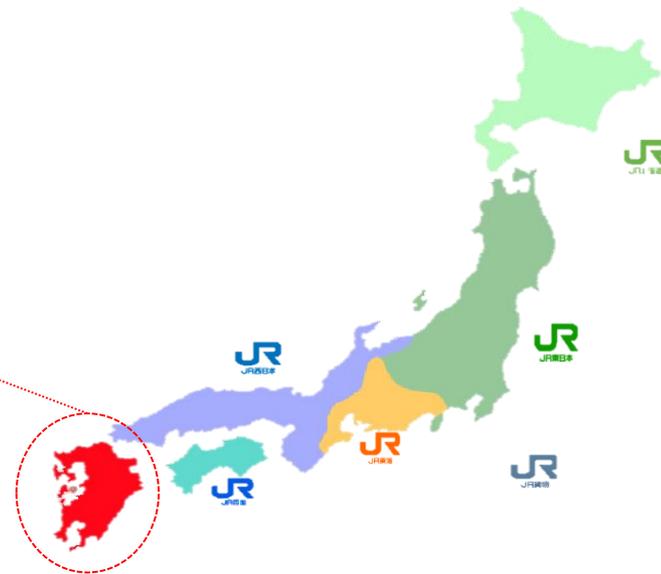
「日本国有鉄道」の分割民営化によりJR九州が発足

■ あらゆる事業に挑戦する精神

「鉄道事業だけに依存してはいけない」という思いで、
様々な事業に挑戦し成長を実現してきた



JR
JR九州
1987



JR九州グループのあゆみ



コーポレートカラーは「赤」



南の明るい太陽の国には、燃える熱意の色「赤」がふさわしく、
全力で明るくスタートダッシュをきる新会社の意欲的な姿勢を表現

JR九州グループのあゆみ



地域を元気にするという思いのもと**鉄道事業**と**関連事業**の両輪であらゆる価値を創出

●鉄道事業



(D&S列車)

- ・ 1989年の特急「ゆふいんの森」の運行を皮切りに、現在では、10本のD&S列車（デザイン&ストーリー列車（観光列車））を運行
- ・ 今春には、「かんぱち・いちろく」がデビュー



(ななつ星 in 九州)

- ・ 2013年に日本で初めてのクルーズトレインとして誕生
- ・ 米国出版大手コンデナスト社の旅行誌の読者投票では「世界の豪華列車」部門で3年連続世界トップに選ばれる



(九州新幹線・西九州新幹線)

- ・ 2011年に九州新幹線（博多～鹿児島中央）が全線開業し、JR博多シティとの相乗効果で当社の成長はさらに加速
- ・ 2022年に西九州新幹線が開業を果たし、西九州エリアの活性化を後押し

JR九州グループのあゆみ



地域を元気にするという思いのもと**鉄道事業**と**関連事業**の両輪であらゆる価値を創出

●関連事業



(不動産・ホテル)

- ・ 1989年に初の分譲マンション販売を開始
- ・ 1992年に「ホテルブラッサム福岡」を開業
現在、九州・沖縄、京都、東京、タイにて、20のホテルを展開
- ・ 1997年に初の駅ビル事業であるアミュプラザ小倉が開業
現在、九州の県庁所在地を中心に駅ビルを7箇所を展開
- ・ 2021年に物流事業へ参入
現在、物流不動産を4件取得、2件の開発に着手



(流通・外食)

- ・ 2002年には、飲食店「うまや」を東京・赤坂に開業する
など、東京、九州で外食事業も展開



D&S列車紹介動画「のる、たび、よろこび。」





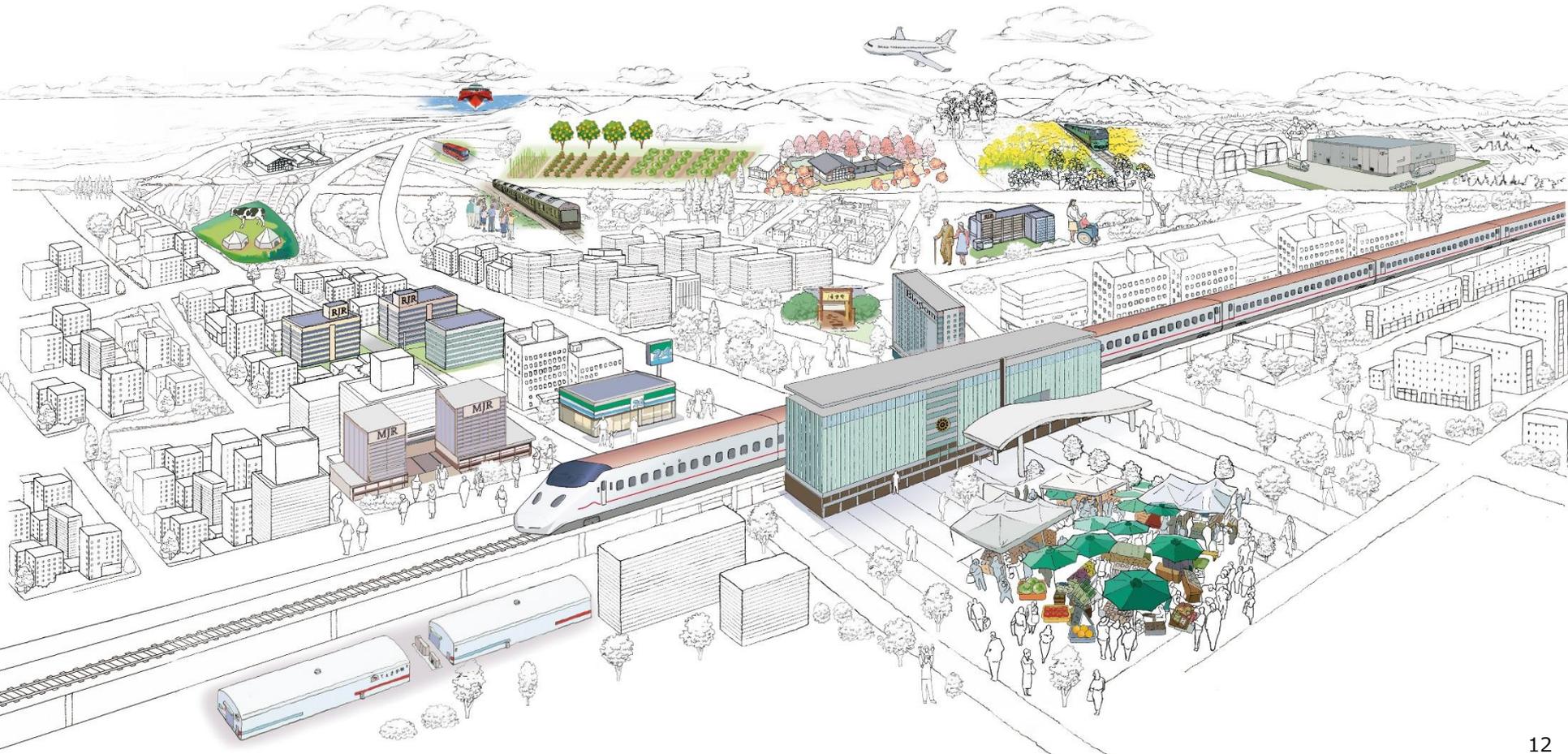
JR九州グループの主な事業構成



KYUSHU RAILWAY COMPANY

JR九州グループの事業構成

- JR九州グループは、九州全域に鉄道網を有する鉄道をコア事業とする企業グループ
- 駅ビルやホテル、マンション、建設、船舶、流通や外食事業など、鉄道事業との相乗効果が高い領域を中心にその事業領域を拡大

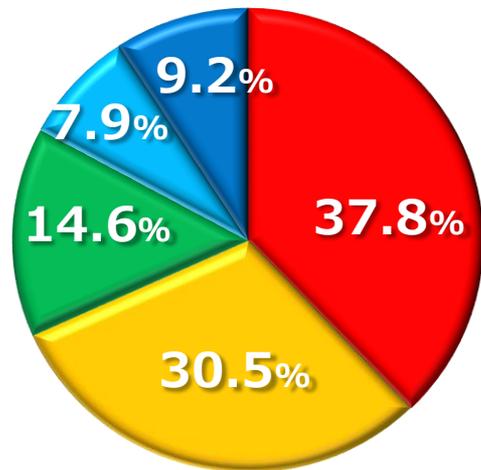


JR九州グループの事業構成



鉄道以外の事業による売上が約6割となっており、事業の多角化が進んでいる

【セグメント別 売上構成比（2024年3月期）】



運輸サービス



不動産・ホテル



流通・外食



建設



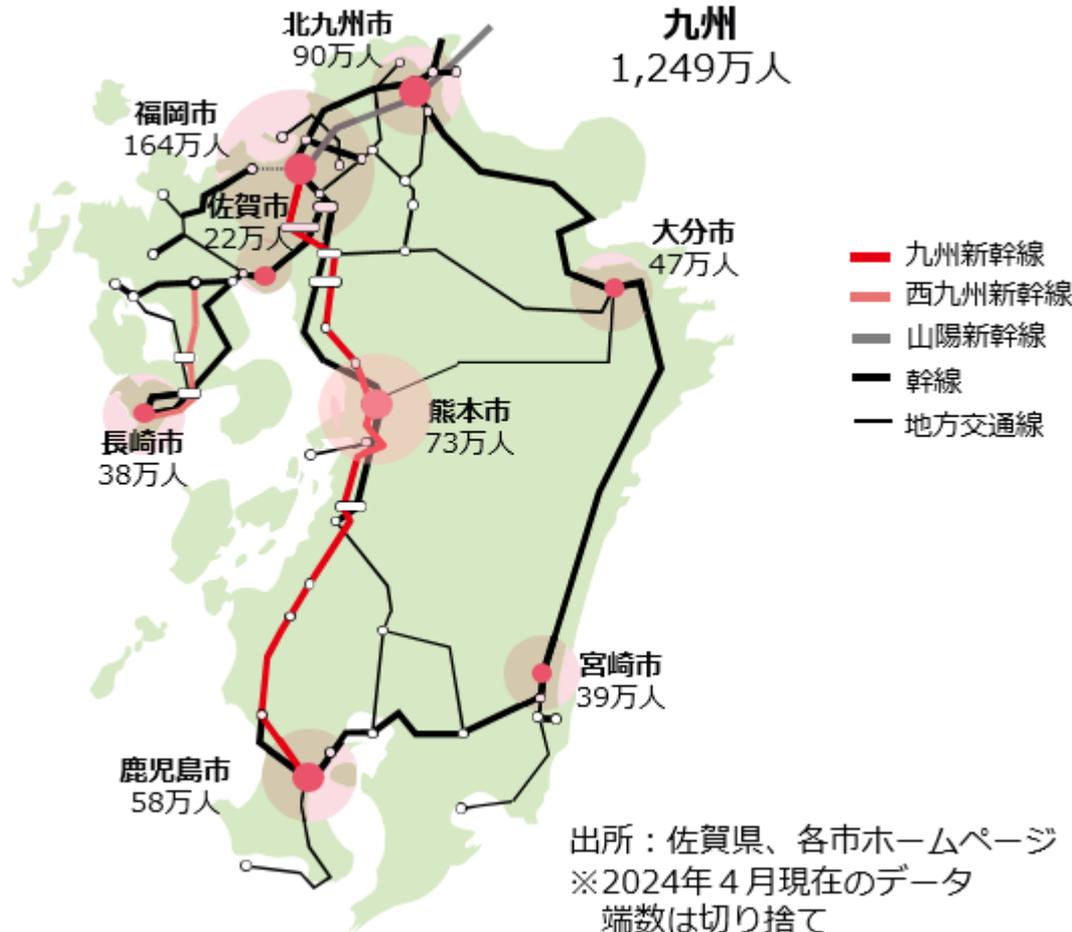
ビジネスサービス



JR九州グループの事業構成 | 全国屈指の経済基盤を有する九州



- 九州は『日本の1割経済』という位置付け（域内総生産、総人口、総面積、事業所数等）
- 福岡市及びその周辺は人口増加が見込まれる成長性の高い都市
- 40万人以上の人口を有する都市が九州全体に分散
- 九州は人口減少が進んでいるものの、強固な経済基盤を有している





JR九州の経営戦略



KYUSHU RAILWAY COMPANY



JR九州グループの経営計画の体系



KYUSHU RAILWAY COMPANY

価値創造ストーリー



価値創造ストーリー

「あるべき姿」には、私たちが、九州の元気をつくっていく、さらに、九州から日本、そしてアジアを舞台に元気をつくっていくという思いが込められています。

「誠実」、「成長と進化」、「地域を元気に」の3つの「おこない」は、私たち一人ひとりが常に立ち返るべき拠り所として大切にしている行動指針です。

当社グループは、「あるべき姿」に向けて「おこない」のもとに事業を実践することで、企業価値向上と持続可能な社会の実現を目指していきます。

価値創造プロセス

JR九州グループが大切にしている
3つのおこない

「誠実」
「成長と進化」
「地域を元気に」

JR九州グループ
中期経営計画
2022-2024

あるべき姿

安全とサービスを基盤として
九州、日本、そしてアジアの元気をつくる
企業グループ

2030年 長期ビジョン

安全・安心なモビリティサービスを軸に
地域の特性を活かしたまちづくりを通じて
九州の持続的な発展に貢献する

2030年長期ビジョン実現方針

- 方針① 価値観の変化を捉えた“豊かな生活を実現する”まちづくり
- 方針② 九州の持続的な発展に貢献する領域の拡大

マテリアリティ

JR九州グループが常に考えるべきこと

- E** 脱炭素社会の実現
- S** すべての事業の基盤となる安全とサービス
- S** 持続可能なまちづくり
- S** 価値創造の源泉である人づくり
- G** 健全な企業運営



2030年長期ビジョン実現方針

2030年長期ビジョン(前中期経営計画から継続)

安全・安心なモビリティサービスを軸に地域の特性を活かしたまちづくりを通じて九州の持続的な発展に貢献する

◆2030年長期ビジョン実現方針

方針①

価値観の変化を捉えた“豊かな生活を実現する”まちづくり

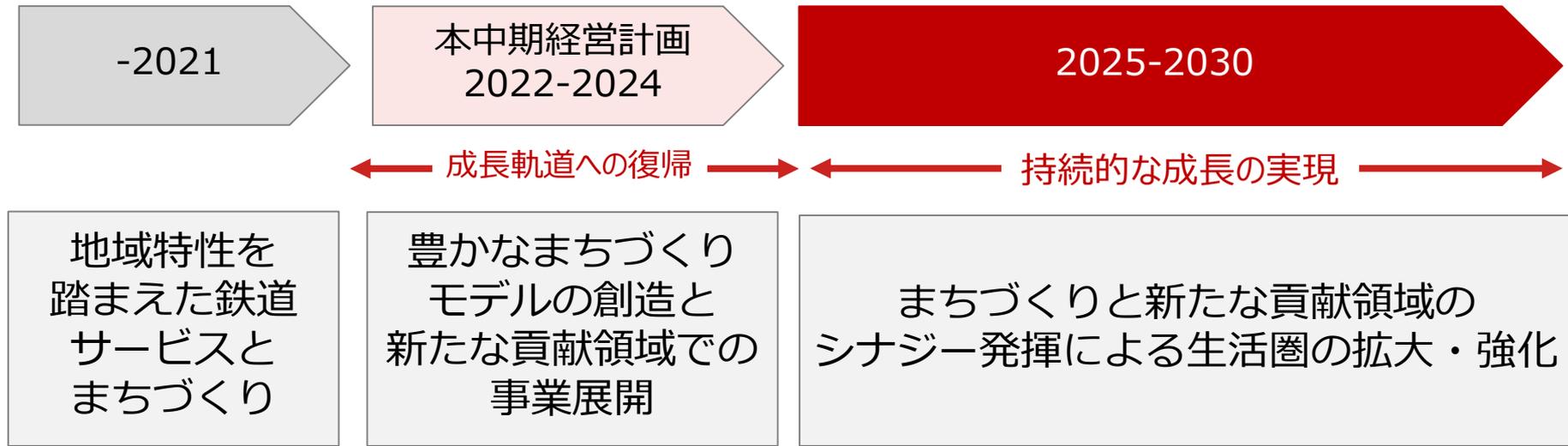
方針②

九州の持続的な発展に貢献する領域の拡大

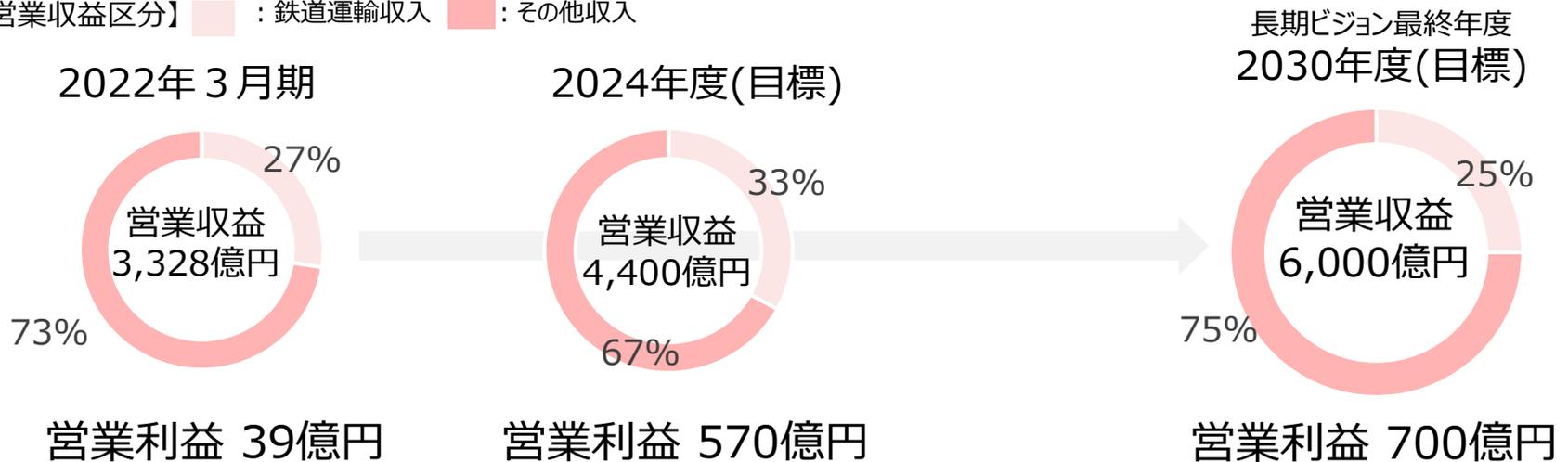
JR九州グループの経営計画の体系



長期ビジョン実現に向けたステップ



【営業収益区分】 ■ : 鉄道運輸収入 ■ : その他収入





本中期経営計画の重点戦略



KYUSHU RAILWAY COMPANY



3つの重点戦略

- 重点戦略① 事業構造改革の完遂
- 重点戦略② 豊かなまちづくりモデルの創造
- 重点戦略③ 新たな貢献領域での事業展開

- 本年3月、香椎線にて「GOA2.5※自動運転」を国内で初めて開始。
- 既存設備を活用することで導入コストを抑えながら、安全性の向上をはじめ、今後懸念される「なり手不足解消」、「養成費コスト削減」につなげる。



※GOA2.5 車両前頭に運転士以外の係員(自動運転乗務員)が乗務し、運行すること

GOA : **G**rades **o**f **A**utomation (自動運転レベル)の略

重点戦略② 豊かなまちづくりモデルの創造 | 西九州エリアのまちづくり

西九州新幹線開業を起爆剤とした西九州エリアの開発を推進することで、新幹線開業効果の最大化を目指す。



- B** 長崎マリオットホテル開業
 - 2024年1月16日開業
 - 客室数207室 (うちスイート28室)



- B** アミュプラザ長崎本館リニューアル
 - 2024年3月1日リニューアル
 - 28店舗、長崎最大級「食のフロア」



2022年1月 2022年3月 2022年9月 2023年4月 2023年11月 2024年1月 2024年3月

- A** 茜さす 肥前浜宿 古民家宿泊施設
- B** かもめ市場 お土産・飲食等
- 西九州新幹線
- C** 佐賀駅高架下 リニューアル
- B** アミュプラザ長崎新館
- D** 嬉野八十八
- B** 長崎マリオットホテル
- B** アミュプラザ長崎本館リニューアル



重点戦略② 豊かなまちづくりモデルの創造 | 西九州新幹線開業効果の最大化

- 2024年9月に開業2周年を迎えた西九州新幹線のご利用状況は順調に推移
- 定期ご利用者数も増加傾向にあり、西九州新幹線の開業効果は継続しているものと認識

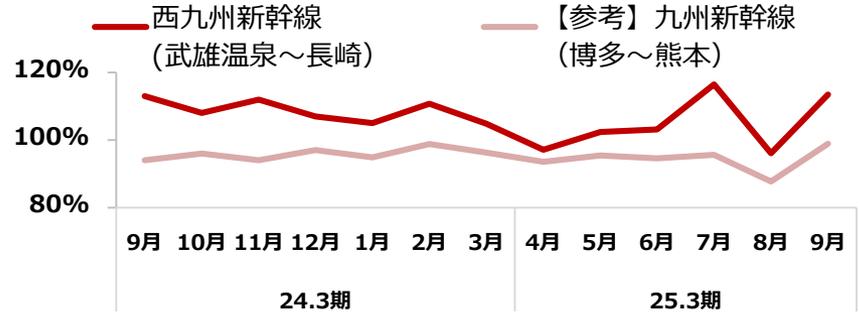
西九州新幹線のご利用状況

開業2年目の西九州新幹線 ご利用者数
(2023年9月23日～2024年9月22日)

約6,900人/日

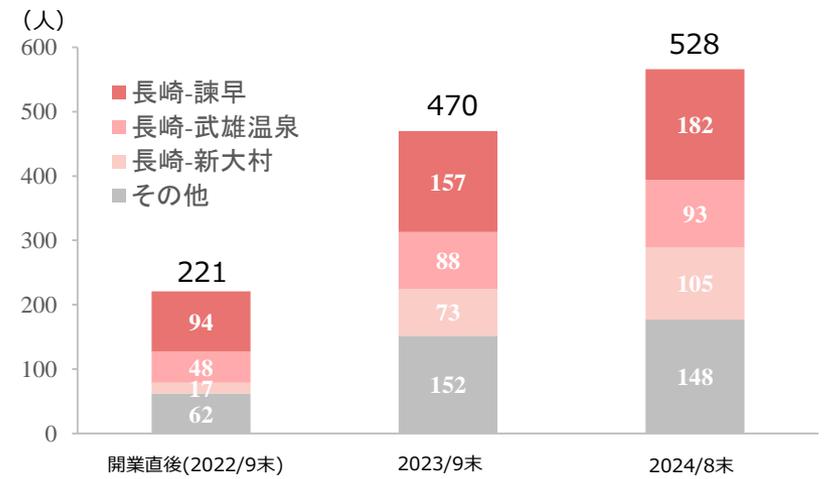
※開業1年目
ご利用者数
約6,700人/日

西九州新幹線ご利用者数の19.3期比



※西九州新幹線は武雄温泉～長崎間の実績、開業1年目ご利用者数は2022年9月23日～2023年9月22日の実績
※2018年度の諫早～長崎間の特急「かもめ」の利用実績比

西九州新幹線 定期ご利用者数推移



JR長崎駅ビルの状況



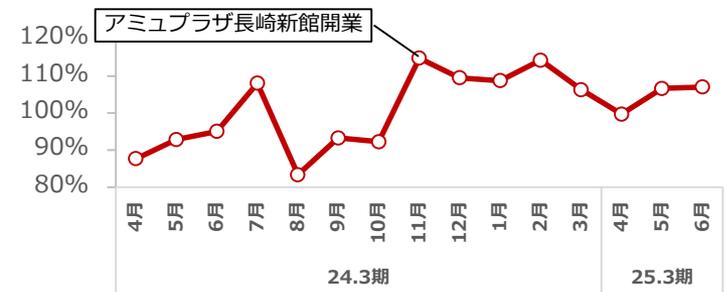
開業6か月間 全館ご来館者数

約1,324万人
内、新館約506万人

(参考)長崎県の人口
約126万人

※2023年10月1日現在
出典: 「人口推計」(総務省統計局)

長崎駅近距離収入の19.3期比



重点戦略③ 新たな貢献領域での事業展開 | M&Aの推進



- 収益機会の獲得や事業領域の拡大を目指し、既存事業とのシナジー効果の最大化や九州の観光推進につながるM&Aをこれまで実施してきた。
- 最近では、BtoB事業への挑戦と、地域の雇用維持やブランド価値の維持向上を図っている。

M&AによりJR九州グループ入りした会社

● 2016年以降、BtoB領域では11社、BtoC領域では5社の会社をM&A

(BtoB領域)

- ・ キャタピラー九州
- ・ CKレンタル

キャタピラー・ジャパン合同会社の九州地区特約販売店であり、建設機会・道路機会等の販売、レンタル等が主な事業



- ・ プレミアムロジックス

ピアノ等の大型楽器、複合機や医療機器等の精密機械を中心とした重量物の運送等が主な事業



(BtoC領域)

- ・ フジバンビ

「黒糖ドーナツ棒」をはじめとした菓子の製造販売等が主な事業



- ・ おおやま夢工房

九州有数の梅の郷 大分県日田市大山町の温泉宿「奥日田温泉 うめひびき」の運営、梅酒をはじめとした加工品の製造・販売等が主な事業





本中期経営計画の実行を支える 人づくり・基盤づくり



KYUSHU RAILWAY COMPANY

本中期経営計画の実行を支える人づくり・基盤づくり

JR九州の人材戦略

人間力

- 自分を「もっと高めよう」、会社を「もっと良くしよう」と考え、どんな欲に努力する
- 多様な価値観を受け入れ、協働するとともに後輩や部下を育成する
- 5Sやあいさつを大切に、手間を惜しまず、嘘、偽り、ごまかしのない行動をとる
- お客さまや地域の方々、取引先からの信頼を得る



「JR九州グループ中期経営計画2022-2024」
「2030年長期ビジョン」「あるべき姿」の実現に向け、基盤となる「人づくり」を推進するため、新しい人材戦略を策定

実務力

- 自らの業務をやり遂げ、業務や事業の成長と進化に積極果敢に挑戦する
- 高い視点と広い視野を持ち、経営に参画する
- 自ら進んで勉強し、自分のレベルアップに積極的に取り組む
- 地域の方々や自治体等、社外の方々との連携により、成果を最大化する

2つの基本方針

- ▶ 社員が働きがいを持ち、いきいきと活躍できる会社づくり
- ▶ 人間力と実務力を持った社員の育成

人材戦略の4つの柱

意欲と能力のある社員への挑戦・成長の機会の提供と支援

多様な価値観や能力を持つ社員の活躍による新たな価値の創造

努力と成果に応じたメリハリのある評価と報酬

ライフプランに合わせた柔軟な働き方が選択できる環境整備と健康経営の推進



安全

＜安全に関する社員の声＞

“安全はあるものではなく、つくりあげていくもの”
との考えのもと、**安全性向上**に取り組む



サービス

＜お客さまの声＞

「**サービスを社風へ**」と高めるべく、**お客さまの声**
に耳を傾け、サービスのさらなる向上・改善に注力



人づくり

＜新規事業提案制度を通じた多様なキャリア＞

自ら学び、挑戦する人づくりに取り組み、
多様な人材が生き活きと活躍できる環境をつくる

本中期経営計画の実行を支える人づくり・基盤づくり



●JR九州グループDX戦略2022-2024

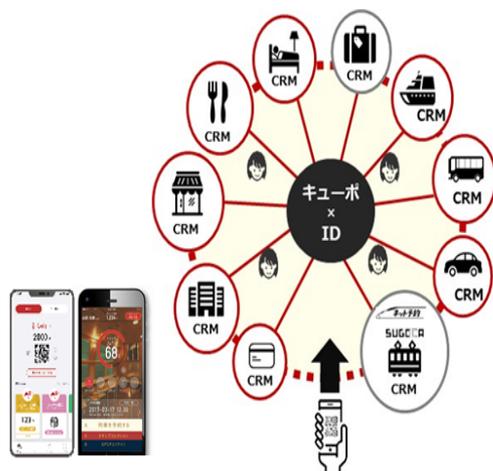
DX推進

DX:デジタルトランスフォーメーション

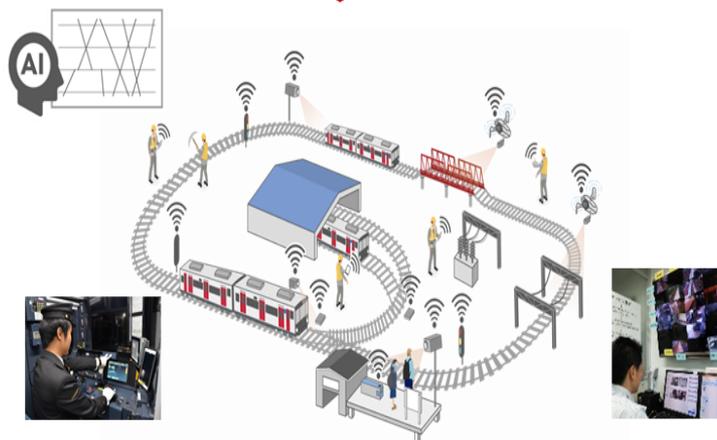
デジタル技術を発展させ、業務の効率化だけでなく人々の生活をより良いものへと変革すること

デジタル推進体制の構築

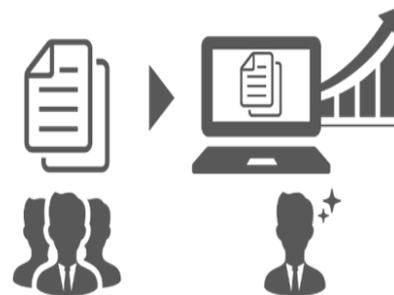
デジタル基盤の整備



お客さま体験価値向上



オペレーション・メンテナンス改革



働き方改革・生産性向上

・上記の実現に向けて、デジタル技術の活用やデジタル人材の育成等を通じた環境整備を行い、デジタル推進体制の構築に取り組む



決算ハイライト・株主還元



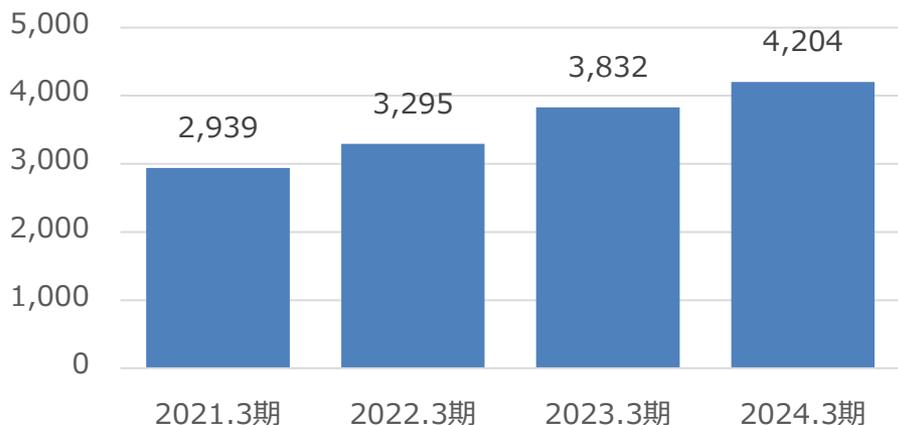
KYUSHU RAILWAY COMPANY

2024年3月期までの決算ハイライト

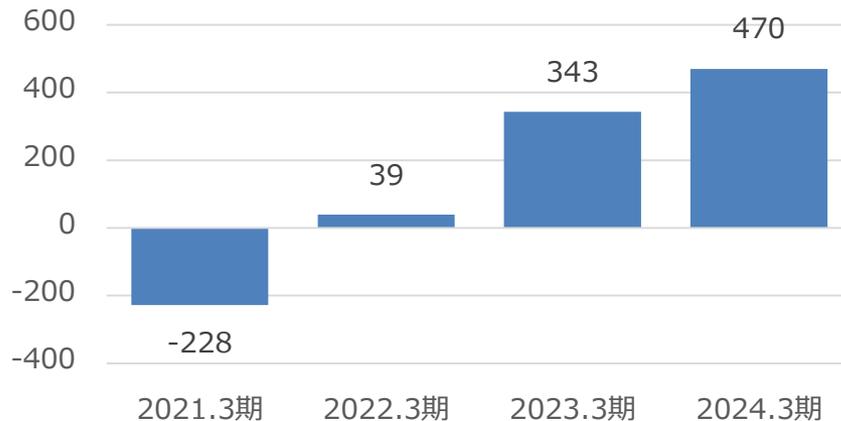


新型コロナウイルス感染症が収束し、社会経済活動の正常化が一層進み、鉄道事業を始めとした各事業における需要が回復したことなどにより、増収増益

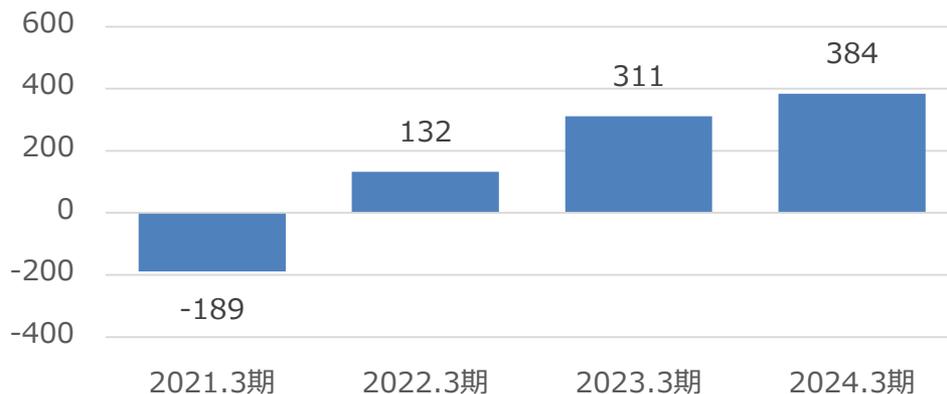
営業収益（億円）



営業利益（億円）



当期純利益（億円）



2025年3月期 通期連結業績予想ハイライト



- 従業員の待遇改善による人件費の増はあるものの、鉄道運輸収入の増や修繕費の減、前期開業物件の平年度化や開業経費剥落などにより、営業利益は増益見込み
- 連結の範囲を変更し、建設セグメントとビジネスサービスセグメントの一部の孫会社を連結化
- 中期経営計画における営業収益・営業利益・EBITDAの目標は達成見込み

(単位：億円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 通期予想	対前年		中期経営計画 目標値	対目標	
営業収益	4,204	4,411	206	104.9%	4,400	11	100.3%
営業利益	470	573	102	121.7%	570	3	100.5%
経常利益	489	567	77	115.9%	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	384	422	37	109.8%	-	-	-
EBITDA	800	940	139	117.4%	940	-	100.0%



株主還元



KYUSHU RAILWAY COMPANY

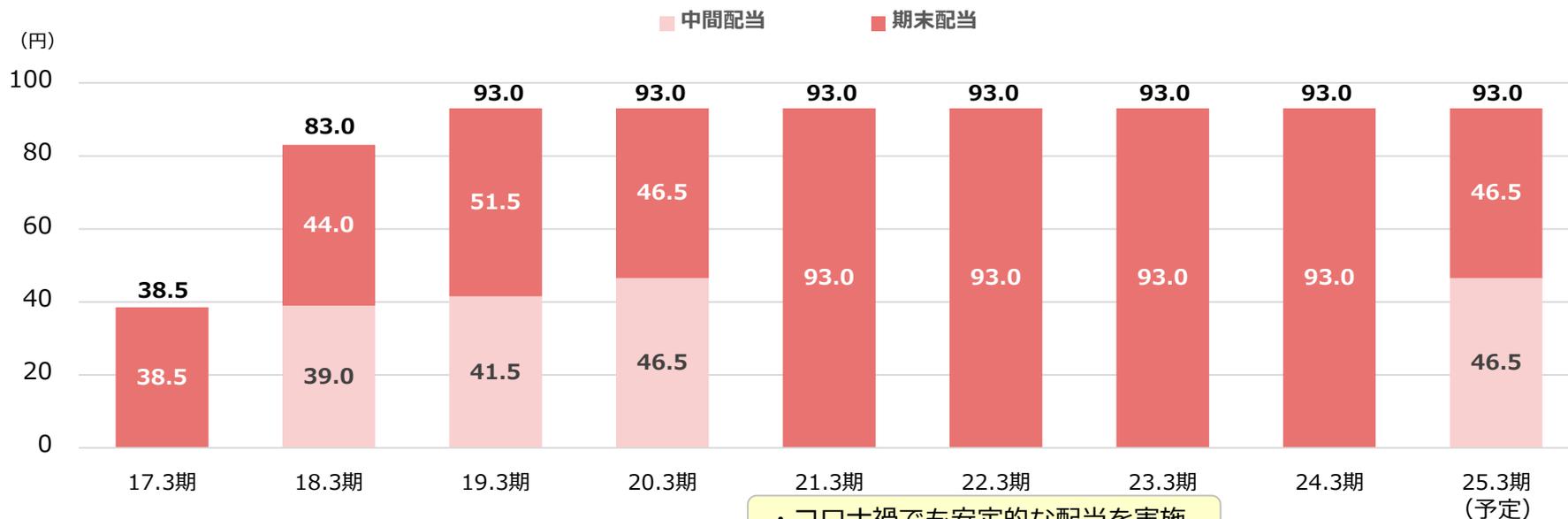
株主還元方針

2025年3月期は**1株当たり93円**の配当予定（5年ぶりに中間配当予定）

株主還元方針

- 株主還元は長期安定的に行っていくことが重要と考え、2025年3月期まで1株当たり配当金93円を下限として、連結配当性向35%を目安に配当を行い、状況に応じて機動的に自己株式取得を行う

(参考) 1株当たり年間配当金の推移



配当性向	13.8%	26.3%	30.2%	46.9%	-	110.3%	46.9%	38.0%	34.6%
総還元性向	13.8%	26.3%	30.2%	78.6%	-	110.3%	46.9%	38.0%	34.6%

※自己株式取得 (100億円)



株主優待制度



KYUSHU RAILWAY COMPANY

株主優待制度



3種類の株主優待

※ 3月31日を基準日として株主優待制度を実施し、6月下旬に送付しています。

鉄道株主優待券

1枚につき、お一人様の運賃が1日無料（**1日乗車券タイプ**）
特急列車・新幹線にご乗車の場合は、別途特急券が必要

JR九州グループ 株主優待券

JR九州グループの各利用対象施設で
現金同様にご利用可能な**500円券**（一律5枚）

JR九州高速船 株主優待 割引券

QUEEN BEETLE（クイーンビートル※スタンダードクラス）
国際航路（福岡-釜山） 1名さま往復運賃 **10,000円**
※2024年8月13日から当面の間、運休しております。

株主優待制度（鉄道株主優待券）



- お一人様1日限り、JR九州管内の快速・普通列車に乗り放題
（日田彦山線BRTもご乗車いただけます）
- 別途、特急券等をご購入いただければ、特急列車・新幹線、D&S列車にもご乗車いただけます。
- 鉄道株主優待券と併用する特急券は、券売機やインターネット予約でも購入いただけます。

<ご利用の際の運賃・料金のイメージ>

博多→鹿児島・指宿温泉へ

（大人お一人さまで九州新幹線自由席、特急「指宿のたまたま箱」指定席、片道利用の場合）

通常料金：12,440円（運賃：6,160円、新幹線自由席：4,500円、特急指定席1,780円）

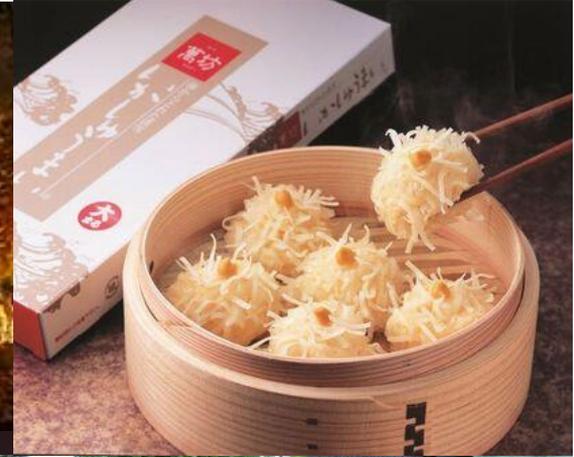
優待料金：6,280円（運賃：0円、新幹線自由席：4,500円、特急指定席1,780円）



株主優待制度（JR九州グループ株主優待券）



- JR九州グループの各利用対象施設で現金同様にご利用可能な**500円券（一律5枚）**
- 関東、関西及び九州・沖縄にある JR 九州グループの駅ビル、ホテル、飲食店など約**100施設**で利用可能



株主優待制度（長期保有株主優待制度）

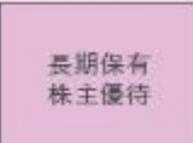


ご優待内容

「鉄道株主優待券」と
「JR九州グループ株主優待券」を追加で発行

発行基準

毎年3月31日を基準日として、**500株以上**を保有し、かつ
100株でも継続して**3年以上**保有

所有株式数	鉄道株主優待券	長期保有株主優待	JR九州グループ株主優待券	長期保有株主優待	JR九州高速船株主優待割引券
					
100株～500株未満	100株ごとに1枚	—	—	—	—
500株～1,000株未満	100株ごとに1枚	1枚追加	—	2枚追加	—
1,000株～10,000株未満	10枚+1,000株超過分 200株ごとに1枚	2枚追加	一律5枚 (500円券×5枚)	4枚追加	一律1枚
10,000株～20,000株未満	55枚+10,000株超過分 300株ごとに1枚				
20,000株以上	100枚				

例) 2024年3月31日時点での所有株式数が500株以上であれば、
直前3年間の保有株式数が500株未満であっても長期保有株主優待の対象となります。



当社グループはあるべき姿として掲げる

「安全とサービスを基盤として九州、日本、そしてアジアの元気をつくる企業グループ」の実現に向けて、社員一丸となって取り組んでいます。

加速度的に変化する社会の中で、あるべき姿の実現に向けて、事業構造改革を完遂させるとともに、グループの未来をつくる「人、モノ、新技術」への投資を積極果敢に行うことで、今後の持続的な成長につなげてまいりますので、ご期待ください。

本日のまとめ



JR九州について

九州内を中心に、鉄道事業のみならず不動産、流通・外食事業等さまざまな分野で地域とともに「**価値**」を創出してきた企業グループ

JR九州の 経営戦略

「あるべき姿」の実現のため、2030年長期ビジョンを掲げ**安全・安心なモビリティサービス**の提供と地域の特性を活かした**まちづくり**を通じて、九州の持続的な発展に貢献する

決算ハイライト & 株主還元

株主還元を経営上重要な施策と位置づけ、**長期安定的な還元**を目指す
2025年度3月期は1株当たり年間93円の配当予想
株主優待は3種類（長期保有株主優遇制度あり）

株主さま向け限定イベントの開催



株主さまに当社事業への理解を深めていただくべく、各種イベントを開催

株式上場7周年記念キャンペーン

- 株主の皆さまへ日頃の感謝を込めて、イベント等を開催



JR九州社長によるトークショー＆
「SL人吉」「A列車で行こう」貸切ツアーの様子

熊本総合車両所見学ツアー

- 熊本総合車両所にて新幹線の点検行程等を見学



2024年度実施予定のイベント

- 熊本総合車両所見学ツアー開催予定（11～12月）
※その他、関東地区でのイベントを開催予定

株主さま向けメールマガジンのご案内



当社の株主さま向けに月2回程度、IR情報や株主さま限定イベント、アンケート等の情報をお届けいたします。

[🏠](#) > [企業・IR・ESG・採用](#) > [IR情報](#) > [IRライブラリ](#) > [個人投資家向け資料](#) > [メールマガジン](#)

JR九州株主さま向けメールマガジン登録のご案内

JR九州株主さま向けメールマガジンは、当社の株主の皆さまへの情報提供サービスです。以下のバナーをクリックして株主さまの情報をご登録いただきますと、メールで当社の企業情報やキャンペーン情報をお届けします。

※当社の株主さま限定のサービスとなります。

[新規登録（登録料・年会費はありません） >](#)

ご登録はこちら



※本メールマガジンは、トライコーン株式会社のメール配信ASPサービス「クライゼル」を採用しており、申込受付フォームは「クライゼル」のサイトとなりますので予めご了承ください。

将来の見通しに関する記述について



本資料には、JR九州グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。

これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものであります。そのため、今後、国内外および九州の経済情勢、不動産市況、各プロジェクトの進捗、法令規制の変化、その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本資料に記載された内容と大きく異なる可能性があることにご留意ください。

弊社IR関連資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。
JR九州ホームページ

<https://www.jrkyushu.co.jp/company/ir/library/earnings/>



ありがとうございました

